

	学習指導要領	都立大森高校 学カスタンダード
(1) 原 始 ・ 古 代 の 日 本 と 東 ア ジ ア	原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ア 歴史と資料 遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性に着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する基本的な方法を理解させ、歴史への関心を高めるとともに、文化財保護の重要性に気付かせる。 イ 日本文化の黎明と古代国家の形成 旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐など東アジア世界との関係、古墳文化、天平文化に着目して、古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。 ウ 古代国家の推移と社会の変化 東アジア世界との関係の変化、荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、	・資料に基づいて歴史が叙述されており、それらの情報を総合し、歴史を組み立てることが歴史を考察する基本的な方法であることを理解するとともに、文化財保護の重要性を理解する。 ・旧石器文化から縄文文化への移行を自然環境の変化に着目して理解する。また、呪術的な風習の意味を理解する。 ・弥生時代の社会の変化について、墓制、集落の特色や青銅器の使用文化圏などを踏まえて理解する。また弥生土器の発掘地が東京であることを理解する。 〔古代国家の形成と展開、文化の特色と背景〕 ・小国の形成や抗争の背景と邪馬台国成立に至る経緯などについて、中国文献を踏まえて理解する。 ・大和政権による国内統一の過程を古墳文化の変化と関連付けて理解するとともに、古墳文化の各時期の特色を理解する。 ・推古朝の改革の具体的な内容について、史料を基に理解するとともに、飛鳥文化の代表的な建築・美術作品の特色を理解する。 ・大化改新から天武・持統朝までの各時期の政策に着目し、律令制度の確立過程とその統治体制の特色を理解する。 ・平城京の時代を東アジア世界との交流や鎮護国家思想と関連付けて理解し、藤原氏の進出と政界の動揺について理解する。 ・天平文化成立の背景や天平文化を代表する文学・建築・美術作品の特色を理解する。また、鎮護国家の思想や国家意識の高まりについて理解する。 〔古代国家の推移〕 ・平安京遷都や東北経営の背景や意義について理解する。

	学習指導要領	都立大森高校 学カスタンダード
(2) 中 世 の 日 本 と 東 ア ジ ア	古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽^{ほうが}について考察させる。	・藤原北家発展の具体的経緯と摂関政治の仕組みについて理解する。 〔中世社会の萌芽〕 ・初期荘園から寄進地系荘園成立に至る荘園支配の動向について理解する。 ・武士団の成長と地方の反乱について理解する。 〔
	中世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ア 歴史の解釈 歴史資料を含む諸資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察するなどの活動を通して、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈させる。 イ 中世国家の形成 武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。	〔中世国家の形成過程や社会の仕組み〕 ・院政の機構など専制的な政治体制などの特色を理解する。 ・武士の中央進出の経緯と平氏政権の成立について理解する。 ・源平の争乱の推移、鎌倉幕府の支配機構と封建制度について理解する。 ・北条氏台頭の経緯、承久の乱の背景、執権政治の特色について理解する。 ・御成敗式目の道理を理解する。また、惣領制を中心とした武士の生活について理解する。・東アジア世界の動向から見た蒙古襲来の意義、得宗専制政治確立の背景、永仁の徳政令発布の目的などについて理解する。

	学習指導要領	都立大森高校 学カスタンダード
(3) 近 世 の 日 本 と 世 界	ウ 中世社会の展開 日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。	〔中世社会の多様な展開〕 ・建武の新政の内容とその特色、南北朝動乱の経緯について理解する。 ・守護大名による土地侵略と室町幕府の支配機構を理解する。 ・応仁の乱の原因と影響について理解する。また、代表的な戦国大名が登場する経緯や分国法・城下町を理解する。 ・勘合貿易の推移と幕府が勘合貿易に積極的であった理由について理解する。 〔文化の特色とその成立の背景〕 ・農業生産力向上の諸相や商品経済の発展などを理解する。 ・各文化が成立した時代背景と代表的な文学・建築・美術作品の特色を理解する。 ・文化の地方普及の背景と地域の特色について理解する。また、各地で発達する様々な都市の形態について理解する。
	近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ア 歴史の説明 歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付かせ、それぞれの根拠や論理を踏まえて、筋道立てて考えを説明させる。	〔歴史の説明〕 ・歴史的事象には複数の歴史的解釈が存在することを理解し、それぞれの論拠となる資料や論理を比較・検証して、それぞれの歴史的解釈を筋道立てて説明することができる。
	イ 近世国家の形成 ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、織豊政権と幕藩体制下の政治・経済基盤、身分制度の形成や儒学の役割、文化の特色に着目して、近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについて考察させる。	〔近代国家の形成とその特色や社会の仕組み〕 ・ヨーロッパ世界との接触とその影響や東アジアにおける国際関係も視野に入れて、織豊政権の特色を理解する。 ・桃山文化の建築・絵画・芸能などの特色を理解し、代表的な作品について理解する。 ・幕藩の支配機構、農村支配、経済的基盤、身分制度などの全国支配の仕組みを理解する。

学習指導要領	都立大森高校 学カスタンダード
ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容 幕藩体制下の農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動きに着目して、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について考察させる。	・鎖国体制に至る過程や鎖国下で交流のあった国や地域との関係を知り、鎖国の影響を理解する。 〔幕藩体制の変容と近代化の基盤形成〕 ・寛政の改革や天保の改革の担い手と具体的な政策とそれが失敗に終わったことを理解する。 ・列強の接近の代表的事例を知り、鎖国体制の動揺を招いたことを理解する。 ・薩摩藩や長州藩の藩政改革の特色を知り、雄藩の台頭について理解する。

	学習指導要領	都立大森高校 学カスタンダード
(4) 近代 日本の 形成と 世界	近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ア 明治維新と立憲体制の成立 開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について考察させる。 イ 国際関係の推移と立憲国家の展開 条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して、我が国の立憲国家としての展開について考察させる。	〔開国と幕府の滅亡〕 ・ペリー来航の背景と、日米和親条約調印により幕府が鎖国政策から転換したことの意味を理解する。 ・通商条約調印の経過を理解するとともに、貿易の特色と国内の社会・経済に与えた影響を理解する。 ・尊王攘夷派と公武合体派との対立の原因や主導勢力について理解する。 ・大政奉還が出されたあとの対抗する勢力の動きを理解する 〔明治新政府の近代化の推進過程〕 ・五箇条の御誓文と五榜の掲示が出された目的について理解する。 ・廃藩置県、四民平等、徴兵制、地租改正などの諸改革について、その後の影響を理解する。 〔文明開化〕 ・文明開化が我が国の伝統的な文化を相対化する動きを伴いつつ、人々に与えた影響について理解する。 ・領土画定の経緯について、具体的な条約などを踏まえて理解する。 〔自由民権運動と立憲体制の成立〕 ・国民の間に政治的関心が高揚し、自由民権運動が展開していったことを理解する。 ・大日本帝国憲法の成立過程と、この憲法の特色について理解する。 〔条約改正〕 ・条約改正の具体的な交渉内容について理解する。 〔日清・日露戦争とその前後のアジア〕 ・日清戦争をめぐる国際情勢について理解する。 ・初の政党内閣の成立に対する政府・元老の具体的な対応と、その後の政治状況への影響を理解する。 ・日露戦争について、日清戦争と対比して戦争の規模、経過、国内の世論、国際的な動向などを理解する。 ・植民地支配の過程を、アメリカ・イギリス・ロシアなど列強との関係を踏まえながら理解する。

	学習指導要領	都立大森高校 学カスタンダード
(5) 両 世 界 大 戦 期 の 日 本 と 世 界	ウ 近代産業の発展と近代文化 国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充に着目して、近代産業の発展の経緯や近代文化の特色とその成立の背景について考察させる。	〔近代産業の発展〕 産業の急速な発展によって我が国の資本主義が確立する一方、公害問題や労働問題が発生し、社会運動が起こったことを理解する。
	近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。	〔近代文化の特色〕 - 自然科学分野における主な業績について理解する。 - 代表的な啓蒙思想家について知る。 - 近代文学と明治美術界の代表的作家と作品について知る。
	ア 政党政治の発展と大衆社会の形成 政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化に着目して、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景について考察させる。	〔政党政治の発展〕 - 民衆の政治意識が高まり、一つの政治勢力にまで成長したことを理解する。 - 民衆は排外主義にとらわれず自らの生活を優先させ、日比谷焼打ち事件と比較して民衆意識が成長したことを理解する。 - 原内閣成立の背景と意義、その政策について理解する。 - 護憲三派内閣が普通選挙法と治安維持法を抱き合わせで成立させた意味を理解する。 - 各運動に参加した国民各層にどのような政治・経済上の主張や要求があったのか理解する。 〔大衆社会の形成〕 - 都市化と工業化の進展で大衆社会が形成されたことについて、具体的な事例を挙げて理解する。
	イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会 国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。	〔第一次世界大戦前後の対外政策の推移〕 - 第一次世界大戦への日本参戦の背景と二十一カ条要求などにより中国に権益を拡大していったことを理解する。 - ヴェルサイユ体制・ワシントン体制など国際的な協調体制がとられる中で日本の立場や対外政策の変化について理解する。

	学習指導要領	都立大森高校 学カスタンダード
(6) 現代の日本と世界	ウ 第二次世界大戦と日本 国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかかわりについて考察させる。	〔国内の経済・社会に及ぼした影響〕 ・大戦景気の背景と国内経済・社会に生じた具体的な変化を理解する。 〔対外政策の推移〕 ・世界恐慌の発生やその対応策としての保護貿易主義の広がりなど、世界経済の動きを理解する。 ・全体主義の台頭による国際関係の変化や中国などにおける民族運動の進展を理解する。 ・どのように軍部が政治的に進出したかを理解する。 ・金融恐慌や昭和恐慌の背景と経緯及び影響について理解する。 ・具体的な対外政策の推移について理解する。 〔戦時体制の強化と第二次世界大戦〕 ・中国との戦争が長期化した背景を理解する。 ・戦場となった地域や戦争相手国の動向を踏まえて、第二次世界大戦の背景やその経過を理解する。 ・東京大空襲について調べ、平和への関心を高める。
	ア 現代日本の政治と国際社会 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。	〔我が国の再出発〕 ・連合国による日本占領の特色と当初の占領方針の非軍事化と民主化の諸政策の内容を理解する。 ・ ・占領政策の転換を東アジア情勢やアメリカの対世界政策の転換を踏まえて理解する。 ・日本国憲法制定の成立過程を整理し、その意義を理解する。 ・サンフランシスコ平和条約と日米安全保障条約の内容と特色及び日本の独立の意義について理解する。 〔政治や対外関係の推移〕 ・多極化する国際情勢の変化がアジアに緊張をもたらし、日本の政治・外交に大きな影響を及ぼしたこと理解する。 ・冷戦終結、グローバル化の進展など国際環境の変

学習指導要領	都立大森高校 学カスタンダード
イ 経済の発展と国民生活の変化 戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。 ウ 歴史の論述 社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。	化などを理解し、日本が国際社会において重要な役割を果たしていることを理解する。 〔日本経済の発展と国民生活の変化〕 ・財閥解体・農地改革、経済復興の過程を連合国の対日政策とのかかわりから理解する。 ・日本の経済発展と国民生活の向上を、経済復興、国際経済、技術革新と高度成長などと関連付けて知る。 ・科学技術の発達に伴う生活水準の向上とともに公害の発生などの社会問題が表面化したことを理解する。 〔歴史の論述〕 ・社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、社会生活にかかわる具体的な主題を自ら設定し、史・資料を多角的・多面的に考察し、自分なりの解答をレポートなどにまとめることができる。